

店舗探訪

私たちの薬局紹介 三社はなの木薬局編

2024年11月に開局した三社はなの木薬局。ターミナル駅である金沢駅からほど近いこの店舗は、処方や患者様にどのような特徴があるのでしょうか？薬局長のNさんが追求している「薬局の本来あるべき姿」とともに、日々の取り組みについて語っていただきました。



三社はなの木薬局
薬局長

Nさん

【地域の特性】 専門性を求める患者様が集う 「第二の受け皿」

この周辺は、他にクリニックや薬局があまり多くありません。だからこそ、隣のクリニックは、他の医療機関で症状が改善しなかった方が訪れる「第二の受け皿」としての役割を担っています。私たちも、そうした患者様のお薬手帳を確認し、これまでの治療歴を踏まえた上で、一歩踏み込んだ服薬指導を心がけています。

【大切にしている考え】 本来あるべき姿を追求した、 先回りする患者様対応

「お待ちください」とお声がけし、カウンターでお薬をお渡しするのが一般的ですが、当薬局ではお薬を準備する前に、私たちが患者様の席まで伺って処方内容の確認をさせていただいています。これは、立ち上げ時からこだわっている「薬局の本来あるべき姿」。後から「このようなはずではなかった」という事態を防ぎ、患者様の不安を解消しつつ、結果的に時間の短縮にもつながります。

＼今後の目標／ かかりつけ薬局として、 地域に深く根ざしていく

開局して1年未満ということもあり、風邪など一時的な症状で来局される方が多いのが現状です。これからは、高血圧や糖尿病などで来られる定期的な患者様を増やし、長くお付き合いできる関係を築いていきたい。そのために、クリニックと合同の勉強会などを通じて、より幅広いニーズに応えられる体制を整えていくことが目標です。

【店舗の特徴】 駅近の立地と、 専門クリニックを支える役割

金沢駅からすぐの落ち着いた住宅街にある薬局です。隣接するのは大きな病院で、呼吸器系の専門医として活躍された院長が定年後に立ち上げたクリニックです。院長を頼り、白山市や内灘町など遠方から来局される方も少なくありません。患者様は近隣の美容専門学校生など20歳前後の若い方が中心で、ご高齢の方が比較的少ないのが特徴です。



【スタッフの強み】 丁寧な服薬指導と グループ会社との多職種連携

呼吸器系の患者様が多いため、吸入薬の指導には特に力を入れています。初めての方でもご自身で確実に扱えるようになるまで、スタッフ全員が時間を惜しまず丁寧に説明するようにしてきました。また、在宅医療も重要な業務です。店舗裏のサービス付き高齢者住宅に加え、個人宅への訪問では、グループ会社である株式会社エラブルの訪問看護ステーションとも連携し、地域医療を支えています。